

都市再生整備計画 事後評価シート
三保半島地区

平成26年2月

静岡県静岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	三保半島地区			面積	450ha		
交付期間	平成21～25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	2,062百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		【道路】(都)羽衣海岸線【下水道】折戸1号雨水幹線整備事業【地域生活基盤施設】羽衣海岸緑地整備事業、4カ国語情報案内板整備【土地区画整理事業】三保羽衣土地区画整理事業										
	提案事業		【地域創造支援事業】三保半島まちづくり活動推進事業										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	基幹事業		【公園】①三保羽衣公園、②三保宮方公園、③羽衣公園			①②三保羽衣土地区画整理内の街区公園として計画されており、区画整理事業の進捗に合わせて施行するため、計画期間内の実施が見込まれないため、削除した ③関係機関との協議が必要となることから、計画期間内の着手が見込まれないため、事業を削除した。			生活環境に対する満足度に資する事業であるが、生活環境改善に関する中心的事業である土地区画整理事業に変更がないことから、数値目標等は据え置く。				
	提案事業		【地域創造支援事業】折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業			今後の事業進捗も上記対策及び関係機関との調整を行いながら進める必要があることから地域創造支援事業としての雨水管渠を削除した。							
新たに追加した事業		基幹事業		【道路】(都)塚間羽衣線		土地区画整理事業の進捗に伴い道路整備が必要になったため追加した			影響なし				
提案事業		【地域創造支援事業】羽衣公園整備基本構想策定事業		「名勝地」の整備に係る関係機関協議が必要となる全体的な整備計画の策定について、地域住民の意見を取り入れるため、事業を追加した。			地域資源の活用に関する住民の認識に効果があると思われるが、数値目標等は据え置く。						
交付期間の変更		当初	平成21～25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	観光交流客数	人/年	908,095	H19	880,000	H25	858,864	898,431	○	あり なし	久能山東照宮の国宝指定による効果にけん引されている面もあるが、三保半島のまちづくり協議会の活動が観光交流客数の増加に繋がった。	平成26年7月
	指標2	地域資源の活用に関する住民の認識	%	19	H20	29	H25	21.5	22.6	△	あり なし	● 指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることから、目標の達成に至らなかったことが直接的な原因である。	平成26年7月
指標3	生活環境に対する満足度	%	12	H20	18	H25	12.6	14.0	△	あり なし	● 指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることから、目標の達成に至らなかったことが直接的な原因である。	平成26年7月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	地域資源の活用に関する住民の認識	%	19	H20				47.2			住民参加型の公園整備基本構想策定事業のワークショップ等を実施したことにより、参加住民の期待度が大きな効果となった。	
その他の数値指標2	生活環境に対する満足度	%	12	H20				28.5			住民参加型の公園整備基本構想策定事業のワークショップ等を実施したことにより、参加住民の期待度が大きな効果となった。		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年に三保半島地区まちづくり協議会を発足し、三保半島のまちづくりに対して住民の意見を反映することで、まちづくりへの住民の積極的な参加へ繋がった。 市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。 												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●					
	住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●					
	持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●					
モニタリング			平成23年度 指標の達成状況の計測と庁内組織による検討				●						
住民参加プロセス			①三保半島まちづくり活動支援事業(三保半島地区まちづくり協議会) ②羽衣公園整備基本構想策定事業 ③中間評価にあたり地元住民へアンケート調査を実施				●						
持続的なまちづくり体制の構築			三保半島のまちづくりに関して、住民と市との意見交換を計10回開催した。今後も活動を継続的に実施していく。				●						
モニタリング			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						
住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						
モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
住民参加プロセス			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
持続的なまちづくり体制の構築			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		①観光交流客数(908,095人) ②生活環境に対する満足度(22%)	①観光交流客数(880,000人) ②生活環境に対する満足度(18%)	①平成20年度以降観光客数は減少傾向にあったため、当地区の観光交流客数増加に影響する事業の実施を計画していたが、日本平、久能山を含めた広域的かつ戦略的な事業展開を求められていることから、現事業計画を長期スパンにおいて見直すため、現計画期間内での目標達成は難しく、目標値の下方修正をした。 ②計画期間内に生活基盤整備に係る事業の完了が困難であることから、指標の大きな改善は見込まれないため、目標値を下方修正した。
D. その他()					

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業		当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
事業	事業箇所名	事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(都)羽衣海岸線	894.0	W=12m、L=1,500m	306.0	W=12m、L=1,600m	羽衣公園整備事業と一部事業区域が重複しており、羽衣公園の全体整備計画策定後の事業化が望ましいため事業区間を変更した。 地権者との用地交渉が難航し、用地が確保できなかったため、計画年度内の事業を縮小し、事業費を減額した。	「生活環境に対する満足度」の指標に関連し、事業費の減少による指標への影響はあるが、次期計画において、事業を継続的にを行い、現計画のフォローアップを実施することにより目標値の達成度を検証することから目標値の見直しは行わない。		●
	(都)塚間羽衣線	—	—	36.8	W=20m、L=60m	土地区画整理事業の進捗に伴い、道路整備が必要となったため事業を追加した。	影響なし		●
公園	三保羽衣公園	106.0	A=5,000㎡	—	—	三保羽衣土地区画整理事業区域内の街区公園として計画されており、区画整理事業の進捗に合わせて施行するため、計画期間内の実施が見込まれないため、削除した。	生活環境に対する満足度に資する事業であるが、生活環境改善に関する中心的事業である土地区画整理事業に変更がないことから、数値目標等は据え置く。	—	—
	三保官方公園	33.0	A=1,500㎡	—	—	三保羽衣土地区画整理事業区域内の街区公園として計画されており、区画整理組合が事業の経営改善に伴う当公園の位置・形状等の変更を含めた換地計画の変更を検討しているため、計画期間内の実施が見込まれないため、削除した。	生活環境に対する満足度に資する事業であるが、生活環境改善に関する中心的事業である土地区画整理事業に変更がないことから、数値目標等は据え置く。	—	—
	羽衣公園	166.0	A=3,000㎡	—	—	整備予定箇所が「名勝」に指定されていることから、全体的な整備計画を策定し、関係機関との協議が必要となることから、計画期間内の着手が見込まれないため、事業を削除した。	生活環境に対する満足度に資する事業であるが、数値目標等は据え置く。	—	—
下水道	折戸1号雨水幹線及び雨水管渠整備事業	876.0	L=999m	860.0	L=504m	湧水対策に伴い事業進捗の遅れが生じたため、計画期間内の実施が見込めない区間を縮小したが、事業実施にあたり湧水が予想外に膨大であり、薬注による地盤改良が必要となったため、事業費の減額はほぼ無い。 また、管渠は事業化できないため事業名を変更する。	生活環境に対する満足度に資する事業であるが、変更内容が規模の縮小のみのため、数値目標等は据え置く。		●
地域生活基盤施設	羽衣海岸緑地整備事業	67.5	L=880m	13.1	L=1240m	(都)羽衣海岸線の進捗に合わせて整備を実施するため、事業区間を変更する。 地権者との用地交渉が難航し、用地が確保できなかったため、計画年度内の事業を縮小し、事業費を減額した。	「生活環境に対する満足度」の指標に関連し、事業費の減少による指標への影響はあるが、次期計画において、事業を継続的にを行い、現計画のフォローアップを実施することにより目標値の達成度を検証することから目標値の見直しは行わない。		●
	4国語情報案内板整備	4.0	1箇所	1.2	1箇所	事業完了による事業費を減額する。	影響なし	●	
土地区画整理事業(都市再生)	三保羽衣土地区画整理事業	826.5	A=20.8ha	827.1	A=20.8ha	過年度の事業費の確定に伴い事業費を増額した。			●

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	折戸1号雨水幹線及び雨水官渠整備事業	30.0	L=363m	—	—	事業実施にあたり予想外の多量の塩水による湧水処理と塩害対策の必要が生じたことから事業の進捗が遅れている。今後の事業進捗も上記対策及び関係機関との調整を行いながら進める必要があることから地域創造支援事業としての雨水官渠を削除した。	地域創造支援事業としては削除するが、下水道事業として実施するため数値目標等は据え置く。	—	—
	三保半島まちづくり活動支援事業	31.8	①まちづくり実施計画の策定 ②まちづくりモニタリング事業	12.5	①まちづくり実施計画の策定 ②まちづくりモニタリング事業	変更なし		●	
	羽衣公園整備基本構想策定事業	—	—	5.8	基本構想の策定、ワークショップの実施都決変更	「名勝地」の整備に係る関係機関協議に必要となる全体的な整備計画の策定について、ワークショップや勉強会等により地域住民の意見を取り入れるため、事業を追加した。	地域資源の活用に関する住民の認識に効果があると思われるが、数値目標等は据え置く。	●	
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業		三保羽衣地区	—	5.411	平成16～25年度	平成16～28年度	事業実施中	
		名勝「三保松原」緑化推進事業	7.0	7.0	平成21～24年度	平成21～24年度	地域との連携及び技術指導を継続的に実施中	
		観光トイレ改修事業	11.0	11.0	平成22～24年度	平成22～25年度	観光複合施設を中心とした整備の実現に向けて整備計画を再検討中	
		真崎広場整備事業	—	13.0	—	平成24～25年度	H24年度整備完了	
		自転車道利用促進事業	—	3.0	—	平成25年度	レンタサイクルの実証実験を継続実施中	
		(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業	—	0.0	—	平成24年度	平成24年度地元住民を含めたワークショップを開催し、公園として整備する提言書を提出した。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	H22	858,864	モニタリング	×	あり	なし	
指標1	観光交流客数	人/年	毎年実施している、観光交流客数調査データの値とする。	990,308	H12	908,095	H19	880,000	H25	モニタリング	H22	858,864	モニタリング	×		
										事後評価	確定 見込み	●	898,431	事後評価		
指標2	地域資源の活用に関する住民の認識	%	平成25年度7月に三保・折戸・駒越地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「三保半島は歴史・文化・自然・産業などの地域資源を活かしている」と感じている回答割合の値とする。	—	—	19	H20	29	H25	モニタリング	H23	21.5	モニタリング	△	○	
										事後評価	確定 見込み	●	22.6	事後評価		
指標3	生活環境に対する満足度	%	平成23年度7月に三保・折戸・駒越地区を対象とした郵送アンケート(700名を無作為抽出)を実施し、「三保半島は、都市基盤が整備され、誰もが安心して快適に生活できる」と感じている回答割合の値とする。	—	—	12	H20	18	H25	モニタリング	H23	12.6	モニタリング	△	○	
										事後評価	確定 見込み	●	14.0	事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	平成24年度末までの観光交流客数の実績値から、平成25年度の推計値を測ったところ、目標値を上回る結果が得られ、交付期間後にも同様の結果が得られると見込まれるため、目標達成とした。	平成22年12月の久能山東照宮の国宝指定による効果もあり、事業外要因も影響している。
指標2	指標の改善へ寄与する事業の進捗が遅れており、目標値には達しなかったが、従前値・モニタリング値と比較すると指標の数値が上がっており、事業実施によるある程度の評価を得たため、今後事業が進捗する事により数値の改善が見込まれる。また、富士山の世界文化遺産登録の効果により、事業拡充の期待感もあり、1年以内の達成見込みはありとした。	
指標3	指標の改善へ寄与する事業の進捗が遅れており、目標値には達しなかったが、従前値・モニタリング値と比較すると指標の数値が上がっており、事業実施によるある程度の評価を得たため、今後事業が進捗する事により数値の改善が見込まれる。また、富士山の世界文化遺産の登録効果により、事業拡充の期待感もあり、1年以内の達成見込みはありとした。	東日本大震災により、生活環境に対する不安感が高まり、指標改善に影響している。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
				基準年度		基準年度					
その他の数値指標1	地域資源の活用に関する住民の認識	%	—	—	19	H20	モニタリング			事業進捗が遅れている影響があるものの、住民参加対象者からは関連する事業の効果発現が認められるため、「地域資源の活用に関する住民の認識」の数値が上がっていることを説明する。	指標2を補完する。
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標2	生活環境に対する満足度	%	—	—	12	H20	モニタリング			事業進捗が遅れている影響があるものの、住民参加対象者からは関連する事業の効果発現が認められるため、「生活環境に対する満足度」の数値が上がっていることを説明する。	指標3を補完する。
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- 平成21年に三保半島地区まちづくり協議会を発足し、三保半島のまちづくりに対して、住民の意見を反映させ、観光面についても積極的に取り組んだことが、地区の活性化に寄与し、観光交流客数の増加に繋がった。
- 上記の具体的な活動としては、富士山の世界文化遺産登録を契機に、三保半島地区まちづくり協議会が散策マップの再編集をするなど、活動が活発化しており、今後さらなる効果発現が見込まれる。
- 市役所内における横断的な事業検討体制により、活発な議論が展開された。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
指標の達成状況の計測と庁内組織による検討	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成23年度 【実施結果】 都市再生整備計画及び個別の各事業の進捗状況の把握 市民アンケート調査の実施 目標値の見直しによる計画変更に向けた対応の検討	・モニタリング調査については今後も継続して実施する。 ・次期計画においては実施事業と目標指標の関連性について精度を高める。 ・モニタリング結果及び本事後評価の結果を踏まえ、次期都市再生整備計画の策定を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
三保半島まちづくり活動支援事業 (三保半島地区まちづくり協議会)	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成21～平成25年度 【実施結果】 三保半島のまちづくりに関して、住民と市との意見交換を計10回開催した。今後も活動を継続的に実施していく。	参加者以外の住民へ、情報の周知徹底をすることで、住民のまちづくりへ対する意識向上を図り、今後も継続的に実施していくことを目指す。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
羽衣公園整備基本構想策定事業	予定どおり実施した	● 羽衣公園整備基本構想策定にあたり、地域住民を対象としてワークショップを実施し、公園整備基本構想(素案)を策定した。具体的な実施計画に地域住民の意見を取り入れることができ、地元の事業に対する理解・協力とまちづくりに関する住民参加等の意識向上が図られ、事業の周知と推進が図られた。	今後定期的アンケート調査等を実施し、住民の意見を聞くことで、現在進めている事業の効果について把握していくことを目指す。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
中間評価にあたり地元住民へアンケート調査を実施	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成23年度7月 【実施結果】 中間評価に向けた地元住民に対するアンケート調査を実施し、現在進めている事業の効果について、住民意見を聞くことができた。	今後定期的アンケート調査等を実施し、住民の意見を聞くことで、現在進めている事業の効果について把握していくことを目指す。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
三保半島地区まちづくり協議会	予定どおり実施した	● 【実施時期】平成21～平成25年度 【実施結果】 三保半島のまちづくりに関して、住民と市との意見交換を計10回開催した。今後も活動を継続的に実施していく。	各事業単体の事業効果や、各事業の組み合わせにより相乗効果が発現できるよう、体制的な施策展開を行うことを目指し、まちづくりを進めるため本地区に必要となる事業について、具体的な検討を行う。	三保半島地区まちづくり協議会の活動を、都市再生整備計画の期間終了後にも継続的な活動が出来る体制の構築が必要となる。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長：都市局都市計画部長 本部長：総務局危機管理部長、企画局企画部長、財政局財政部長、生活文化局市民生活部長、生活文化局文化スポーツ部長、環境局環境創造部長、保健福祉局福祉部長、子ども未来子ども未来部長、経済局商工部長、都市局建築部長、建設局土木部長、建設局道路部長、消防局消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育部長	第1回：平成25年8月26日 第2回：平成25年11月1日	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区(三保羽衣・折戸地区)地区部会 (上記推進本部の下部組織)	部会長：都市計画課長 部会員：企画課長、生涯学習推進課長、文化財課長、清流の都創造課長、子ども未来課長、観光・シティプロモーション課長、治山林道課長、緑地政策課長、公園整備課長、道路計画課長、道路保全課長、清水道路整備課長、下水道計画課長、下水道建設課長、高齢者福祉課長	第1回：平成25年8月5日 第2回：平成25年10月25日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標の種別		指標1		その他指標1		その他指標2	
		指標名	指標改善への貢献度	観光交流客数	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	生活環境に対する満足度	指標改善への貢献度
基幹事業	道路：(都)羽衣海岸線		-	平成22年12月の久能山東照宮の国宝指定による効果にけん引されている面もあるが、三保半島のまちづくりに対して、住民の意見を反映させ、観光面についても積極的に取り組んだことが、地区の活性化に寄与し、観光交流客数の増加に繋がった。	-	住民参加型の羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップや、(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップを実施し、そこで出された「地域資源の活用に関する意見」を参考に公園の整備計画を策定したことにより、参加住民の期待度が大きな効果となった。	△	住民参加型の羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップや、(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップを実施し、そこで出された「生活環境(防災等)に関する意見」を参考に公園の整備計画を策定したことにより、参加住民の期待度が大きな効果となった。	
	道路：(都)塚間羽衣線		-		-		△		
	下水道：折戸1号雨水幹線整備事業		-		-		△		
	地域生活基盤施設：羽衣海岸緑地整備事業		-		-		△		
	地域生活基盤施設：4国語情報案内板整備	◎	○		○		-		
提案事業	土地地区画整理事業：三保羽衣土地地区画整理事業		-	○	○	-	○		
	地域創造支援事業：三保まちづくり活動支援事業	◎	◎	◎	◎	-	◎		
関連事業	地域創造支援事業：羽衣公園整備基本構想策定事業		-	◎	◎	-	◎		
	土地地区画整理事業(三保羽衣地区 道路事業)		-	-	-	-	-		
	名勝「三保松原」緑化推進事業	○	△	△	-	-	-		
	観光トイレ改修事業	△	△	△	-	-	-		
	真崎広場整備事業	△	△	△	-	-	-		
自転車道利用促進事業	○	△	△	-	-	-			
(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業		-	◎	◎	◎	◎	◎		

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	富士山の世界遺産登録や久能山東照宮の国宝指定との相乗効果により、今後も観光客が増加することが見込まれるため、さらなる事業拡充により観光客の増加と観光地としての魅力を向上させる。	住民参加型のワークショップを定期的に開催するとともに、そこで出された意見等を事業に反映する等、引き続き実施する。	住民参加型のワークショップを定期的に開催するとともに、そこで出された意見等を事業に反映する等、引き続き実施する。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2			指標3			指標3			指標〇		
指標名		地域資源の活用に関する住民の認識			生活環境に対する満足度								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路:(都)羽衣海岸線	-	指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることが、目標の達成に至らなかった直接的な原因である。また、事業に対するPR等の情報発信が不十分だったことにより、地域住民の認識が低くなったとも考えられる。	I	××	指標の改善に寄与する事業の進捗が遅れていることが、目標の達成に至らなかった直接的な原因である。また、東日本大震災により、生活環境に対する不安感が高まり、指標改善に影響した。事業に対するPR等の情報発信が不十分だったことにより、生活環境に対する満足度が低くなったとも考えられる。	I						
	道路:(都)塚間羽衣線	-			××								
	下水道:折戸1号雨水幹線整備事業	-			××								
	地域生活基盤施設:羽衣海岸緑地整備事業	-			×								
	地域生活基盤施設:4国語情報案内板整備	△			-								
	土地地区画整理事業:三保羽衣土地地区画整理事業	△			××								
提案事業	地域創造支援事業:三保まちづくり活動支援事業	△			△								
	地域創造支援事業:羽衣公園整備基本構想策定事業	△			△								
関連事業	土地地区画整理事業(三保羽衣地区 道路事業)	-			×								
	名勝「三保松原」緑化推進事業	×			-								
	観光トイレ改修事業	×			-								
	真崎広場整備事業	×			-								
	自転車道利用促進事業	×			-								
	(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業	△	△										

※目標未達成への影響度

- ××:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×:事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △:数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- :事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I:内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II:外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III:外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV:内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	事業進捗の向上を図るとともに、ワークショップ等に参加していない住民に対する整備事業についてのPR等の情報発信を実施し、地域資源の活用に関する住民の認識向上を図る。	事業進捗の向上を図るとともに、ワークショップ等に参加していない住民に対する整備事業についてのPR等の情報発信を実施し、生活環境に対する満足度の向上を図る。	
------------------	---	---	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
静岡市都市再生整備計画事業推進本部	本部長：都市局都市計画部長 本部長：総務局危機管理部長、企画局企画部長、財政局財政部長、生活文化局市民生活部長、生活文化局文化スポーツ部長、環境局環境創造部長、保健福祉局福祉部長、子ども未来局子ども未来部長、経済局商工部長、都市局建築部長、建設局土木部長、建設局道路部長、消防局消防部長、上下水道局下水道部長、教育委員会事務局教育部長	第1回：平成25年8月26日 第2回：平成25年11月1日	都市局 都市計画部 都市計画課
三保半島地区(三保羽衣・折戸地区)地区部会(上記推進本部の下部組織)	部会長：都市計画課長 部会員：企画課長、生涯学習推進課長、文化財課長、清流の都創造課長、子ども未来課長、観光・シティプロモーション課長、治山林道課長、緑地政策課長、公園整備課長、道路計画課長、道路保全課長、清水道路整備課長、下水道計画課長、下水道建設課長、高齢者福祉課長	第1回：平成25年8月5日 第2回：平成25年10月25日	都市局 都市計画部 市街地整備課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
◇従来からの課題 ・土地区画整理事業を中心とした道路・公園・下水道等の公共施設の整備と高質空間の整備 ・半島全体の道路ネットワークの形成と、脆弱な観光道路・生活道路の整備、安全な歩行者空間と自転車ネットワークの整備 ・東海地震に備えた、緊急津波対策の推進、地域防災力の強化	・土地区画整理事業による一部道路の供用開始等、公共施設の整備が進められ、道路ネットワークの形成に寄与した。 ・防災機能を併せ持つ三保羽衣公園の基本構想策定などにより、地域防災力の強化に寄与した。	・今後も公共施設の整備と高質空間の整備を進め、区画整理事業完了に向けて、継続的な事業の遂行が必要である。 ・三保松原が、富士山世界文化遺産の構成資産になったことから、観光拠点として注目度が飛躍的に伸びていることから、道路ネットワーク形成の強化・拡充が求められる。 ・防災機能の強化策は進めているものの、地域特性上、津波被害の危惧を感じる地区であることから、津波被害以外の災害も含めた、総合的な地域防災力の強化策が必要となる。	
◇三保半島全体の活性化に向けた課題 ・名勝「三保松原」を中心とした地域資源の育成・活用とブランド化の推進 ・多様なニーズに対応する交通ネットワークの形成による回遊性の向上 ・地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)	・4か国語観光案内看板整備事業により、地域資源の育成・活用に寄与した。 ・土地区画整理事業による一部道路の供用開始により、交通ネットワークの形成に寄与した。 ・三保半島地区まちづくり協議会による、「三保の松原散策マップ」の編集・配布、QRコードを使った情報板(見えなくても観える解説看板)の設置により、地域資源の育成・活用に寄与した。 ・公園の基本構想策定ワークショップの実施や、散策マップの再編集、QRコードを使った情報板を設置する等、三保半島地区まちづくり協議会が主体となって活動を行ったことにより、地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくりに寄与した。	・富士山の世界文化遺産登録を契機に、観光客の増加が見込まれるため、更なる地域資源の磨き上げ・活用とブランド化に力を入れていく必要がある。 ・多様なニーズに合わせた交通ネットワークの形成により回遊性を向上し、道路整備事業のみならず、多角的な対策が必要となる。 ・地元まちづくり協議会の活動範囲を三保半島全体に拡大して活動を進めているところだが、まちみがき戦略プラン(H23年10月)でも、「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンが示されていることから、市としても地域全体の取り組みの強化・拡充が課題である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
効果を持続させるために行う方策	地元自治会や各種団体等によるまちづくりにかかる検討や活動の継続	一体的なまちづくりに向けての協力体制構築のため、地元自治会等を中心としたまちづくりにかかる部分の検討を継続させ、地域住民のまちづくりへの関心や参加意欲を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会の継続実施 地域住民へのPR、周知活動

B欄	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	土地区画整理を中心とした公共空間の整備と良好な市街地環境の形成	公共空間の整備と都市基盤の整備により、誰もが安心・快適に暮らせる居住環境の推進を行うため、区画整理事業を継続的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の推進 公園整備の推進 下水道整備の推進(雨水)
	道路ネットワークの形成	富士山の世界文化遺産登録により、観光客増加が見込まれるため、道路整備事業を推進させ、道路ネットワーク形成を充実させ、観光地へのアクセス道路としての改善と強化を図る。 ・地域住民の生活道路の改善を行うため、道路整備事業を継続的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備事業の推進、拡充 三保地区自転車道ネットワーク整備事業 水上バス運行事業
	地域総合防災力の強化	地域特性を考慮し、更なる地域総合防災力の強化策を実施していく。	<ul style="list-style-type: none"> 道路整備事業の推進、拡充 下水道整備の推進(雨水)
	地域資源の磨き上げ・活用	富士山世界文化遺産の構成資産に登録された「三保松原」を中心に、更なる地域資源の磨き上げ・活用を推進し、三保半島の観光面の充実を図っていく。	<ul style="list-style-type: none"> 「三保松原」の保全育成 三保松原周辺の公共施設整備 三保半島地区内の案内・観光看板の充実 三保まちづくり活動支援事業
	地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり	まちみがき戦略プラン(H23年10月)の「官民が一体となり、日本平・久能山・三保地区を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンに沿って、大きな地域資源「三保松原」を中心に、観光施策を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> 観光面に関する事業

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	観光交流客数	人/年	908,095	H19	880,000	H25	確定 見込み ●	898,431	○	あり なし	→	平成26年度	毎年実施している、観光交流客数調査データの値とする。	
指標2	地域資源の活用に関する住民の認識	%	19	H20	29	H25	確定 見込み ●	22.6	△	あり ● なし	→	平成26年度	市全域を対象とした郵送アンケート調査を実施する。	
指標3	生活環境に対する満足度	%	12	H20	18	H25	確定 見込み ●	14.0	△	あり ● なし	→	平成26年度	市全域を対象とした郵送アンケート調査を実施する。	
その他の数値指標1	地域資源の活用に関する住民の認識	%	19	H20			確定 ● 見込み	47.2			→			
その他の数値指標2	生活環境に対する満足度	%	12	H20			確定 ● 見込み	28.5			→			

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> 事後評価時には、事業の効果が発現しているよう、事後評価の実施時期を踏まえ、事業進捗管理に努める。 事後評価の実施時期に完成していない事業がある場合は、完成イメージ等を適切に伝え、期待値も含めた事業効果を把握する方法を活用する。 直接的に指標に寄与する事業等が、事後評価時点で完成していない場合は、引き続き次期計画を策定し、事業を実施していく。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> 「指標2: 地域資源の活用に関する住民の認識」および「指標3: 生活環境に対する満足度」に直接的に寄与する事業が事後評価時点ではほとんど完成しておらず、事業効果を十分に発現出来なかった。 	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> 実施事業と指標の関係性を明確にし、事業効果発現が分かる内容とするよう努める。 アンケート調査に基づく指標は、効果の見えやすい事業と関連付けて設定するよう努める。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> 「指標2: 地域資源の活用に関する住民の認識」については、住民を対象にアンケートを行っているが、実施事業と指標の関係性が分かりにくいものとなってしまった。 	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加型の羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップや、(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業のワークショップを実施し、そこで出された「地域資源の活用に関する意見」や「生活環境(防災等)に関する意見」を参考に公園の整備計画を策定することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加型のワークショップを定期的で開催するとともに、そこで出された意見等を事業に反映する。 ワークショップ等への参加に関心が低い地域住民に対する情報発信拡充・強化等、整備事業についてのPR等の情報発信をより積極的に行う。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップ通信を配布する等、情報発信に努めたが、全ての地区住民に十分に情報が浸透したとは言えず、情報発信の拡充・強化が課題となった。 	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> モニタリングの実施により、中間年度における各事業の進捗状況が確認でき、それに伴う指標及び数値目標の見直しができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 他地区の計画においても必要に応じてモニタリングを実施する。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画の活用予定
「三保半島地区(次期計画)」

・今後事後評価を予定する地区
平成26年度 「東静岡駅周辺地区」
平成27年度 「安倍川駅周辺地区」

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成25年11月18日～12月18日	平成25年11月18日～12月18日	郵送、ファクシミリ送信、電子メール及び市役所都市計画課または各区役所窓口へ直接持参	都市局 都市計画部 都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成25年11月1日発刊 広報11月1日号	平成25年11月18日～12月18日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	都市計画課窓口及び各区庁舎 市政情報コーナーにおける閲覧	平成25年11月18日～12月18日	平成25年11月18日～12月18日		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	日詰一幸(静岡大学人文社会学部法学科教授) 室田昌子(東京都市大学環境学部環境創生学科教授)	平成26年1月17日	都市局 都市計画部 都市計画課	静岡市都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	石上義之(技術士)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特に意見はなく、方法書に従って事後評価が適切に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・住民参加をしている人の満足度が非常に高いという結果は、素晴らしく、興味深く感じる。 ・地域の活動に参加し、関わることによって、実感したり、改めて思うことがあると思う。それは住民参加プロセスがよかった成果だと思う。
	実施過程の評価	・まちづくり協議会での意見交換が、この地区ではある程度うまくいっているという印象がある。 ・地域の人が主体性をもって取り組んでいるのはこの事業の成果だと思う。住民の地縁組織だけでなく、商店や企業との意見交換、官民連携も必要であったのかなとも感じる。協議会内にそういう部署を設置することや、その他でそういう場をもうけるなどが考えられる。
	効果発現要因の整理	・特に意見はなく、効果発現要因の整理は適切に行われたと確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特に意見はなく、事業評価原案の公表は適切に行われたと確認された。
	その他	・特に意見はなかった。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・三保半島は、十分な資源はあるが、交通利便性が低く、それを改善するのが羽衣海岸線の整備であると思う。事業実施が出来なかった要因を分析し、次期計画の際には鋭意に取り組んでほしい。
	フォローアップ	・特に意見はなく、フォローアップ計画の作成は適切に行われたと確認された。
	その他	・特に意見はなかった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であることが確認された。
その他	・特に意見はなかった。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第4回変更)

み ほ はんとう
三保半島地区

しずおか
静岡県 静岡市

平成26年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	三保半島地区	面積	450 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標 「5つの育」で共にはぐくむ ～豊かな自然に恵まれた 共育の観光交流半島づくり～ 目標①: 既存資源の育成と連携による観光地としての魅力向上 目標②: 交通ネットワークの充実による回遊性の向上 目標③: 地域主体の活動の連携による包括的なまちづくりの実現 目標④: 誰もが安心・快適に利用できる市街地環境づくり

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ◇三保半島地区の特色 静岡市の三保半島は、羽衣伝説に代表される「名勝三保松原」を有する全国的にも有名な観光地であり、さらに海水浴場や、東海大学をはじめとする教育施設、福祉・コミュニティ施設が多く立地する地区である。周囲には日本三大美港と呼ばれる清水港をはじめ、日本の観光百選、国の名勝、県の自然公園に指定された日本平や国宝久能山東照宮、石垣イチゴ狩り等の観光スポットが点在し、これらと連携した観光戦略が求められており、官民一体となり、「日本平・久能山・三保松原を日本一の観光地に磨き上げる」という戦略的ビジョンが示されている。 ◇まちづくりの経緯 この三保半島においては、約20.8haの三保羽衣地区において、平成15年3月に土地区画整理事業等の都市計画決定、平成16年10月に土地区画整理事業の事業認可（組合施行）を受けたところである。平成16年度よりまちづくり交付金を活用して前述の土地区画整理事業をはじめとした地域の再生に取り組んでおり、平成18年8月の折戸中央公園の完成、平成19年10月の養護老人ホーム松風荘の完成など、順調に事業を実施してきたが、ここ数年は、用地交渉が難航してきたこともあり、当初計画より事業進捗が遅れてきている。 また、三保半島の先端部に位置する真崎地区においては、地域住民との協働により、地域の特性を活かした”観光・新産業拠点＝観光交流拠点の形成”に向けた検討が進められ、三保真崎地区整備事業基本計画案がとりまとめられている。さらに、地元団体代表者等によりまちづくり協議会による各種課題の検討、羽衣神道ワークショップやまゆうの再生ボランティアなど、地域における様々なまちづくり活動が積極的に展開されている状況である。 ◇目標設定の考え方 これまでの取り組みは個々の課題への対応が主体となっており、地域全体を捉えた包括的な検討や地域間の交流や回遊による更なる効果発現を目指すまでには至っていない状況であり、平成19年10月に実施されたまちづくり交付金モニタリング調査においても、三保半島全体として評価する必要性が指摘されている。よって、地域が一丸となって包括的に課題を解消するため、平成16年度より実施されているまちづくり交付金の対象区域を三保半島全体に拡大し、地域住民との協働の中で将来ビジョンの検討・共有化を図り、“5つの育＝知育・体育・食育・徳育・才育”を地域連携の機軸とした観光まちづくりを目指すものとする。 また、従来より進められている三保羽衣土地区画整理組合による土地区画整理事業をベースとして、長年の懸案事項である道路ネットワークの整備とともに、周辺を含めた都市環境の改善を図り、地域の生活環境・安全性・コミュニティ向上に向けた整備を進め、居住者に優しく、かつ地域と来訪者との交流にも資する良好な市街地環境の形成を目指すものとする。

課題 ◇課題(1): 従来からの課題 ①土地区画整理事業を中心とした道路・公園・下水道等の公共施設の整備と高質空間の整備 ②土地区画整理事業を含めた半島全体の道路ネットワークの形成と、脆弱な観光道路・生活道路の整備、安全な歩行者空間と自転車ネットワークの整備 ③東海地震に備えた、緊急津波対策の推進、地域防災力の強化 ◇課題(2): 三保半島全体の活性化に向けた課題 ①名勝「三保松原」を中心とした地域資源の育成・活用とブランド化の推進 ②多様なニーズに対応する交通ネットワークの形成による回遊性の向上 ③地域全体の包括的な取り組みを促すシステムづくり(組織の育成、地域連携に向けたソフト施策の展開)

将来ビジョン(中長期) 【総合計画】基本構想による、めざすまちの姿「活発に交流し価値を創り合う自立都市」 ・三保半島などの特色ある資源、環境を活かした交流拠点機能の強化と点在する拠点空間のネットワーク化を図る 【都市計画マスタープラン】羽衣地域のまちづくりの目標「美しく豊かな自然資源を背景にみなどの薫りが漂う風光明媚なまちづくり」 ・快適で利便性の高い市街地環境の整備 ・自然景観・環境の保全 ・観光レクリエーション資源を活かした交流拠点空間の整備 【まちみがき戦略プラン(平成23年10月)】静岡の良さを掘り起こし、磨き上げ、ふるさと静岡市を「希望の岡」にしたい ・戦略的MICE(マイス)の推進(三保松原周辺、真崎広場再整備関連) ・防災機能の強化(緊急津波対策、地域防災力の強化) ・快適な生活環境の保全、整備(自転車道ネットワークの整備)

目標を定量化する指標		定義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値	基準年度	目標値	目標年度
指標	単位		従前値	基準年度	目標値	目標年度		
観光交流客数	人/年	三保半島における1年間の観光入り込み客数(市観光統計資料)	908,095	H19	880,000	H25		
地域資源の活用に関する住民の認識	%	アンケート調査により、地域住民が「三保半島は、歴史・文化・自然・産業などの地域資源を活かしている」と感じている割合	19	H20	29	H25		
生活環境に対する満足度	%	アンケート調査により、地域住民が「三保半島は、都市基盤が整備され、誰もが安心して快適に生活できる」と感じている割合	12	H20	18	H25		

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標①: 既存資源の育成と連携による観光地としての魅力向上</p> <p>松原の自然や農地を保全・育成するとともに、“5つの育＝知育・体育・食育・徳育・才育”で地域資源を連携させ、滞在性の高い観光拠点を形成する。</p>	<p>三保半島まちづくり活動支援事業 羽衣海岸緑地整備事業 (都)塚間羽衣線カラー舗装 (関連)名勝「三保松原」緑化推進事業 (関連)真崎広場整備事業</p>
<p>目標②: 交通ネットワークの充実による回遊性の向上</p> <p>生活道路・都市計画道路の整備を推進するとともに、観光名所へのアクセス導線を確保する。 また、歩行者、自転車及び水上バス等の非自動車交通の利便性を向上させ、自動車に頼らない観光周遊を可能にする。</p>	<p>三保羽衣土地区画整理事業 (都)羽衣海岸線 (都)塚間羽衣線 三保半島まちづくり活動支援事業 (関連)観光トイレ改修事業 (関連)自転車道利用促進事業 (関連)清水三保羽衣地区</p>
<p>目標③: 地域主体の活動の連携による包括的なまちづくりの実現</p> <p>地域住民と協働で、事業の進捗を適切に管理する。 また、環境保全やまちづくりの活動を支援し、事業効果を半島全体に波及させる。</p>	<p>三保半島まちづくり活動支援事業 羽衣公園整備基本構想策定事業 (関連)(仮称)三保羽衣公園整備基本構想策定事業</p>
<p>目標④: 誰もが安心・快適に利用できる市街地環境づくり</p> <p>土地区画整理事業を中心に公園や下水道など都市基盤施設の整備を進め、住む人、訪れる人の両方が快適で安心できるみどり豊かで良質な市街地を形成する。</p>	<p>三保羽衣土地区画整理事業 折戸1号雨水幹線整備 羽衣海岸緑地整備事業 (関連)観光トイレ改修事業 (関連)清水三保羽衣地区</p>
<p>その他 三保半島まちづくり活動支援事業として、以下を実施する予定。</p> <p>①まちづくり実施計画の策定 戦略的にまちづくりを進めるため本地区に必要となる事業について、現行の協議会の範囲を拡大した三保半島地区のまちづくり協議会を設立し、具体的な事業実施計画を定める。 各事業単体の事業効果や、各事業の組合せにより相乗効果が発現できるよう、体系的な施策展開を行うことを目指し、今後のまちづくりにおける関係者間の役割の明確化、実施スケジュールの立案、事業スケジュールの管理手法の検討などを行う。 <1年目>2年目以降に計画に位置づけることを目指す事業案の具体化、調整 ・真崎地区観光複合施設の内容、周辺整備の考え方 ・自転車道リフレッシュの考え方、観光としてのあり方 ・羽衣の松ロータリー周辺のイメージ検討 等 <2年目以降>まちづくり交付金事業実施効果を見据えた住民主体のソフト施策の検討 ・公共交通と連携したレンタサイクル導入検討 ・観光農業の支援 ・既存施設活用に向けた検討 ・ボランティア活動支援や連携方策の検討(海浜環境保全活動・松枯れ対策勉強会 等)</p> <p>②まちづくりモニタリング事業 まちづくり交付金の効果発現状況の把握や、効果発現が見られない事業の見直し方策の検討など、定期的なモニタリングを行い、継続的に広報する。また、最終年度に事後評価を行う。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,062.50	交付限度額	825.00	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	1,999.20	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	799.68		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	63.30	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	25.32		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m、L=1600m	H16	H25	H21	H25	2,000.0	265.7	265.7		265.7
道路		(都)塚間羽衣線	静岡市	直	W=20m、L=60m	H23	H25	H23	H25	36.80	13.80	13.80		13.80
公園														
河川														
下水道		折戸1号雨水幹線整備事業	静岡市	直	L=504m	H21	H25	H21	H25	860.0	860.0	860.0		860.0
地域生活基盤施設(緑地)		羽衣海岸緑地整備事業	静岡市	直	L=1240m	H21	H25	H21	H25	13.1	13.1	13.1		13.1
地域生活基盤施設(情報板)		4力国語情報板案内整備	静岡市	直	1箇所	H21	H21	H21	H21	1.2	1.2	1.2		1.2
高質空間形成施設														
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		三保土地区画整理事業	組合	間	A=20.8ha	H16	H28	H21	H28	1,645.0	827.1	827.1		827.1
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										4,556.1	1,980.9	1,980.9	0	1,980.9

基幹事業②地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		(都)羽衣海岸線	静岡市	直	W=12m、L=1,600m	H16	H25	H24	H24	2,000.0	40.3	40.3		40.3
道路		(都)塚間羽衣線	静岡市	直	W=20m、L=60m	H23	H25	H24	H24	36.8	23.0	23.0		23.0
公園		-												
下水道		-												
合計										2,036.80	63.30	63.30	0	63.30

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載 ※H24以降を記載 ※H24以降を記載

基幹事業 総計(①+②)														
総計											2,044.20	2,044.20	0	2,044.20

…A=A'+A''

提案事業①社会資本整備総合交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業		三保半島まちづくり活動支援事業	静岡市	直		H21	H25	H21	H25	12.5	12.5	12.5		12.5
		羽衣公園整備基本構想策定事業	静岡市	直		H24	H25	H24	H24	5.8	5.8	5.8		5.8
事業活用調査		-			-									
まちづくり活動推進事業		-			-									
合計										18.3	18.3	18.3	0	18.3

提案事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業														
事業活用調査		-			-									
まちづくり活動推進事業		-			-									
合計										0	0	0	0	0

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

提案事業 総計(①+②)

総計										18.3	18.3	0	18.3
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	------	---	------

合計(A+B) 2,062.50

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)			事業期間		全体事業費	
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度		終了年度
土地区画整理事業	三保羽衣地区	組合	国土交通省	A=20.8ha		○			H16	H28	5,411.4
	名勝「三保松原」緑化推進事業	静岡市	林野庁			○			H21	H24	7.0
	観光トイレ改修事業	静岡市					○		H22	H25	11.0
	真崎広場整備事業	静岡市		A=5800ha					H24	H25	13.0
	自転車道利用促進事業	静岡市							H25	H25	3.0
合計	(仮称)三保羽衣公園基本構想策定事業	三保半島まちづくり協議会							H24	H24	0.0

都市再生整備計画の区域

三保半島地区(静岡県静岡市)	面積	約450	ha	区域	清水区折戸・三保の一部
----------------	----	------	----	----	-------------

